



2022 年度版

名古屋東急ホテル 環境レポート

1. はじめに

名古屋東急ホテルは、2000年に業界に先駆けて「ISO14001（環境マネジメントシステム）」の認証を取得したほか、2002年には名古屋市の「認定エコ事業所」を、その後「認定優良エコ事業所」の認定を受けるなど、省エネルギーと一般廃棄物のリサイクルを柱とした環境対策に継続的に取り組んでまいりました。

2019年には東急ホテルズとして、「地球にやさしいホテル」「まちにやさしいホテル」「ひとにやさしいホテル」の3つのサステナビリティを定め、SDGs（持続可能な開発目標）の観点を深く認識しながら、ホテル事業を通じた持続可能な社会の実現を目指しています。

2. 環境に関する経営理念・方針

地域に根ざした事業活動が不可欠なホテルにとって、環境問題も無縁ではありません。旧来型の大量購入・大量廃棄を前提とした事業活動では、顧客や社会の期待に応えることができないため、当社の掲げるサステナブル方針「地球にやさしいホテル」「まちにやさしいホテル」「ひとにやさしいホテル」に基づいて、一層の環境対策を行うことで、地域及び地球環境の改善に貢献し、顧客、取引先、従業員の信頼に繋げてまいります。

- (ア) ホテルの事業活動が環境に与える影響を認識し、継続的な改善に努めます。
- (イ) 環境に関する法令・規則を遵守します。
- (ウ) 効率的な事業活動を推進し、省エネルギー、省資源を推進します。
- (エ) 分別回収の積極的推進を通じて、廃棄物の削減と再資源化に努めます。
- (オ) 名古屋東急ホテルに携わるすべての従業員に、この方針を周知徹底します。

3. 会社概要

- ① 事業所名 : 株式会社名古屋東急ホテル
- ② 所在地 : 愛知県名古屋市中区栄四丁目6番8号
- ③ 事業内容 : ホテル業 客室数 564室（地上16階 / 地下2階）
 - ・宴会場 14室（最大1,500名収容）、チャペル、神殿
 - ・直営レストラン4店 業務委託レストラン2店
 - ・フィットネスクラブ・エステサロン・ショッピング街 等
- ④ 従業員数 : 323人
- ⑤ 総支配人 : 斉藤 克弥

- ⑥ 敷地面積 : 8,859.0 m²
⑦ 延床面積 : 57,086.0 m²
⑧ 設立日 : 1987年(昭和62年)3月18日

4. 環境に配慮した取組みの状況

(1) 目標及び実績

【 温室効果ガス排出量の削減 】

①目標

温室効果ガス排出量：基準年（2010年度）排出量より 10 %削減

※基準年 = 2010年度、CO₂排出量 7,984.4t

②温室効果ガス排出量

令和 4年度(2022年)：6,041.2t 約 24%削減

令和 2年度(2020年)：5,198.6t 約 34%削減

平成 30年度(2018年)：5,880.7t 約 26%削減

※令和4年度はコロナ禍から抜け出し、お客様の利用が前年比約 60%増加したことから温室効果ガス排出量も増加しましたが、その割合は省エネ効果などにより 16%増に留めることができました。

【 一般廃棄物リサイクル率の向上 】

①目標

継続的にリサイクル率向上に取り組み、リサイクル率 90%以上の実現

②一般廃棄物排出量とリサイクル率 ※()は食品残渣排出量

令和 4年度(2022年)： 365.6t (116.1t) 58.9%

令和 2年度(2020年)： 196.8t (77.5t) 92.1% 注①

平成 30年度(2018年)： 479.3t (181.5t) 80.1%

注① コロナ禍による稼働率低下により排出量が減少

※令和4年度は前年度から一般廃棄物の分別回収基準を細分化したことに伴い、客室稼働の回復により可燃ゴミ排出量が大幅に増加し、リサイクル率が大きく低下する結果となりました。

(2) 主な取組内容

① 電力消費削減策

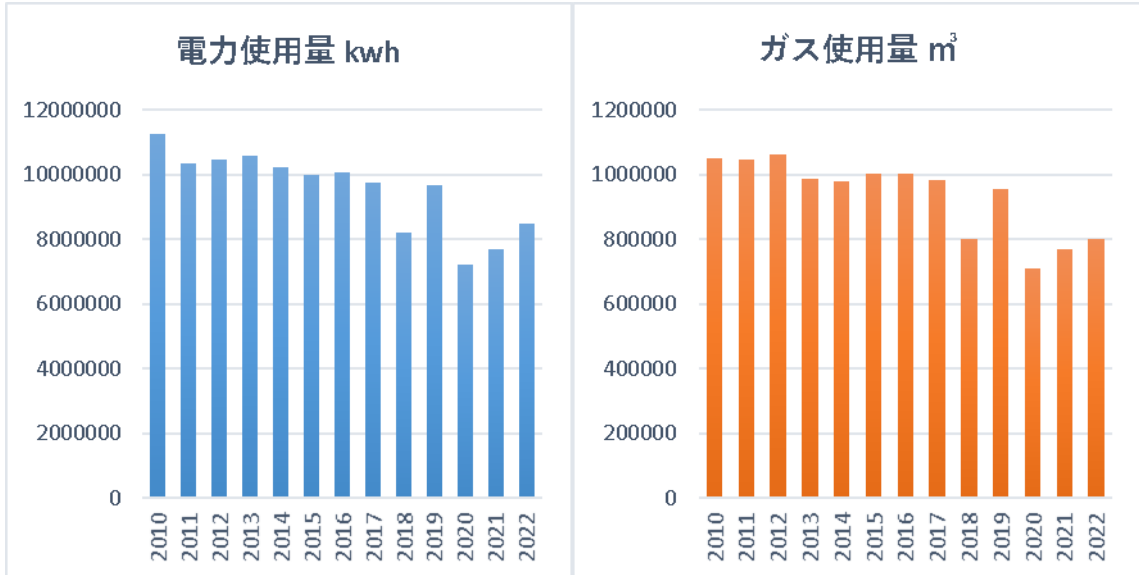
- 1) デマンド抑制に注力、ピーク時の電力負荷カット・平準化の推進
- 2) 照明のLED化、人感センサーの導入、省エネ機器の導入、消灯・減灯の推進

② 都市ガス消費削減策

- 1) 省エネ型吸収式冷凍機への更新等、水蓄熱システムの有効活用の促進
- 2) 客室窓の複層ガラス窓化による空調負荷の軽減

③ 一般廃棄物リサイクル率 90%の実現

- 1) 分別廃棄基準の明確化・徹底
- 2) プラ容器類の削減、資源化できる紙の分別廃棄の推進
- 3) 会議資料のペーパーレス化など紙資源の利用削減



5. 「地球にやさしいホテル」を目指して

温室効果ガス排出量の削減は一定の成果を挙げましたが、排出量は稼働状況や外気温に大きく左右されることから、引き続きデマンド抑制やピーク時の電力負荷カットに取り組めます。また、一層の LED 照明への転換、消灯・減灯の推進、2up/3down 運動によるエレベーターの使用削減などを進めてまいります。

2021 年春には断熱効果を高める全客室の複層ガラス窓化が完了したほか、節水型便器や人感センサーの導入を進めるなどの環境対策を実施しました。

2022 年度からは客室用ミネラルウォーターの容器をアルミ缶に変更したほか、アメニティ類も順次プラスチック使用量の少ないものに変更を進めています。

● 具体的な取り組みと SDGs

原油換算使用量を、2021 年からの5年間 平均値で、2015 年～2019 年平均値の 3%削減します。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
プラスチック製容器・包装材料の購入量を、 2021 年からの5年間平均値で、2015 年 ～2019 年平均値の3%削減します。	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	
一般廃棄物リサイクル率を、2021 年から の5年間平均値で、90%以上（重量比）を 実現し維持します。	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも 守ろう	

6. 「まちにやさしいホテル」を目指して

ホテルの3大リスクである「火災・食中毒・情報漏洩」を起こさないために、自主的な消防訓練計画の策定と訓練の実施・所轄消防署の指導などによる「火災予防対策の実施」や、食品衛生管理計画（HACCP）の徹底、各種講習会・ふき取り検査などによる「食品衛生管理」の推進、個人情報保護規定に基づく個人情報保護体制の確立による「情報漏洩の未然防止」を推進いたします。

将来的に発生が予想されている大規模地震等の災害発生時には、BCP（事業継続計画）に基づき、いち早い復旧を目指します。

また、名古屋東急会を通じた「ふれあいコンサート」や「地域清掃活動」などにつきましても、2022年から順次再開させていただきました。



● 具体的な取り組みと SDGs

防火管理委員会が制定する訓練の充実を図り、食品衛生管理計画の推進、衛生講習会の開催などにより、有責事故ゼロを継続します。



7. 「ひとにやさしいホテル」を目指して

ホテルにはお客様の生命と財産をお守りするという重要な使命があります。このため、まずは感染症予防を最優先した事業運営を推進いたします。

その上で、受動喫煙やノロウィルスなどの健康被害の予防、「30・10運動」の推進等による食品ロスの削減、慈善活動を通じた途上国の子どもたちへのワクチン提供などに取り組みます。

● 具体的な取り組みと SDGs

お客様にも呼びかけをさせていただき、ホテル全館で募金活動等を行い、慈善団体を通して世界の子どもにワクチンを提供します。



ホテル内で生じる食べ残りは従業員食堂などで提供するほか、「30・10運動」を推進し、お客様にも理解を求めて食品ロスを削減します。



名古屋 東急ホテル

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目6番8号
Tel:052-251-2411 Fax:052-251-2422
www.tokyuhotels.co.jp/nagoya-h